

ネイパル・アースキッズ

道立青少年体験活動支援施設ネイパル厚岸

<取組の概要・特色>

道立青少年体験活動支援施設ネイパル厚岸では、自然観察や調査活動等をとおして、地域の生態系に関する興味・関心を高めるとともに、環境保全の意識高揚を図ることを目的に、小学校3年生から中学生を対象に、平成24年度より本事業を実施しています。

■平成27年度の実践例

平成27年度は6月と7月に開催し、釧路・根室管内等の小・中学生21名が、道東地域の貴重な自然である「湿原」をテーマに研修を深めました。

6月に開催された「第1回ネイパル・アースキッズ」は、浜中町霧多布湿原において、湧水や多様な生物についての観察、泥炭の採取などを行うとともに、厚岸町内のお供え山から厚岸別寒辺牛湿原や厚岸湖、厚岸湾を観察しながら、山間、里地、海の相互の関わりについて学習しました。



(参加者の様子)



(泥炭採取の様子)



(霧多布湿原での学習の様子)

7月に開催された「第2回ネイパル・アースキッズ」は、前回、霧多布湿原で採取した泥炭の重さの測定や燃焼実験、標茶町塘路湖畔でのヤチマナコに入る体験や釧路湿原での植物観察などを行いました。

2回の事業をとおして、湿原の環境を知り、道東地域の豊かな自然の存在を理解する機会となりました。



(ヤチマナコに入る様子)



(ヤチマナコの説明を受ける様子)



(塘路湖畔での学習の様子)

<推奨理由>

道立青少年体験活動支援施設ネイパルでは、「北海道教育推進計画」等に基づき、本道の子どもたちを巡る教育課題へ対応するための体験プログラムを提供しています。

この中で、ネイパル厚岸等では、環境に対する気付きや環境保全に向けた行動力を高めるための事業を実施しています。